



特別支援に使える

教材紹介



独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

特定非営利活動法人発達障害療育センターのスタッフが、普段、発達障害の子ども達への学習支援活動を行う中で、有効であったと感じている教材を一部ご紹介します。

必ずしも全ての子どもにおいて有効であるとは限りませんが、普段の活動においてご利用いただければ幸いです。また、ここに掲載されていないものでも有効な教材は多くありますが、紙面の都合上、パソコンを用いて学習する教材を中心に、一部のみ紹介させていただきます。あらかじめご了承ください。

読み書きについて

読み書きの練習では読んだり書いたりすることも大事ですが、ゲームのような形で回数多く目に触れるということもまた有効です。また、実際に読んだり書いたりする際にも、ヒントがあることで、読み書きが苦手な子どもでも負担なく取り組めるでしょう。スモールステップで勉強ができたり、ゲーム形式で取り組むことができたりする教材やサイトをご紹介します。

*ここでは、ひらがなの清音の読みをある程度学習しており、それ以降の学習が必要な子どもに使える教材を紹介しています。読み書きの初歩段階でつまずきのある子ども用の教材は少ないため、当センターでは「ことばのがくしゅう」を開発しています。

運筆・視知覚について

読み書きに困難のある児童の中には、運筆（思い通りに鉛筆を動かす力）や視知覚（単純な形態や模様を分析する力）に苦手さがある児童もいます。そういった児童には、文字の読み書きの練習だけではなく、運筆や視知覚の力そのものも伸ばしていくと良いでしょう。

算数について

発達障害の子どもの中には、算数に苦手さがある児童もいます。算数をスモールステップで学ぶことができたり、生活に必要な算数の力を伸ばすことができたりする教材をご紹介します。

理科・社会について

読み書きができないために、理科・社会の授業についていけず、学習が進まない子どもがいます。その一方で個別に説明などをしてあげると、きちんと内容を理解できる子どもも多くいます。

コミュニケーションについて

発達障害の子どもはコミュニケーションのルールを自然と学ぶということが出来ない場合があります。しかし一方で、「こういう時はこうなる。だからこうする。」といったことをあらかじめ学習しておくことで、実際のコミュニケーションの場面で活用できることも多いです。当たり前と思われるようなコミュニケーションのルールを確認しておくことで、子ども自身のコミュニケーションスキルも高まりますし、クラス運営にも活用できるのではないかと思います。

読み書き(ひらがな・漢字・文)

得意・不得意から入る特別支援教育教材	
対象	読み書きが苦手な子ども（ひらがなの清音の読みはある程度できており、その次のステップの学習が必要な子ども）
形式	インターネット上で使用 もしくは 印刷して使用 (それぞれの教材により、使用方法が異なります)
サイト	http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/tokui/index.html 特別支援教育デザイン研究会ポータルサイト (http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/1/) にて公開されている教材です。

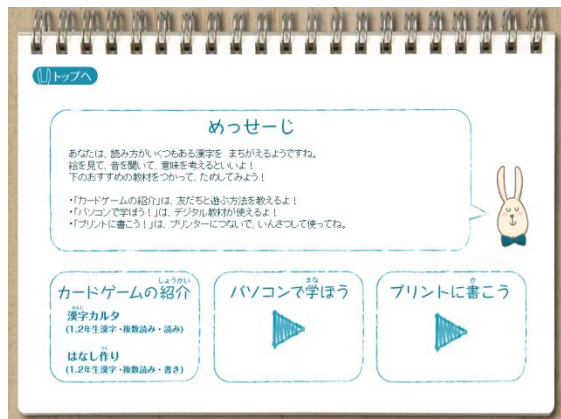
この教材は、特別な教育支援を必要とする子どもたちのために開発されたソフトです。保護者や教員用に「おとな」、子ども用に「こども」が用意されています。

〔トップページ〕

おとな用とこども用があります

〔こども・何が得意かな？〕

質問に答えていくと、オススメの教材を紹介してくれます



「おとな」の教材では、チェックリスト・発達支援・活動案・支援教材が提供されています。チェックリストでは、該当する項目にチェックしていくと、現在有する読み書きのつまづきを把握できます。発達支援では、発達支援についての詳しい説明がされています。活動案では、カードゲームによる支援方法の手順が紹介されています。支援教材では、デジタルワーク・カードワーク・プリントワークの三種の支援教材が提供されています。

「こども」の教材では、何が得意かな？・パソコンで学ぼう！・カードゲームの紹介・プリントに書こう！が提供されています（提供されている支援教材の内容は「おとな」で紹介されている教材と同じです）。何が得意かな？では、質問に答えていくと、おススメの教材を見つけることができます。パソコンで学ぼう！では、パソコンを使ったデジタル教材を使用することができます。カードゲームの紹介では、友達と一緒にするカードゲームが紹介されています。プリントに書こう！では、プリントアウトして、書いて覚える教材が提供されています。

画像はサイトのスクリーンショットより

読み書き(漢字)

電子ビジュアル辞書～漢字を絵で覚えよう～	
対象	漢字（1～6年生配当）が苦手な子ども
形式	インターネット上で使用
サイト	http://www4.e-kokoro.ne.jp/vd/index.html 特別支援教育デザイン研究会ポータルサイト （ http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/1/ ）にて公開されている教材です。

この教材では、漢字や単語の意味する内容について絵（イメージ）を見ることができます。また、1年生から6年生の配分漢字に加えて、生活場面でよく使う単語、社会科教科書の単語の学習をすることができます。

「教科書でならう漢字」では、①漢字、画数、意味の絵 ②読み（音読み、訓読み） ③使い方（短い文） ④仲間の漢字（同じ漢字で読み方がちがう漢字と単語）を確認することができます。



「生活場面でよく使う単語」「社会科教科書の単語」では、①単語、意味の絵 ②読み方 ③意味 ④仲間の漢字（同じ漢字で読み方がちがう漢字と単語）を確認することができます。



また、デジタル絵カードも提供されています。「漢字＋絵」「よみ＋絵」「短文＋絵」という3種類のテンプレートがあり、子どもの状態に合わせて、難易度を調整することができます。また、絵カード学習の後には、その内容のプリント教材も作成することができます。



画像はサイトのスクリーンショットより

読み書き(漢字)

怪盗ねこぴー かんじゲーム	
対象	漢字（1～6年生配当）が苦手な子ども
形式	インターネット上で使用
サイト	http://www.nekopy.com/studys/kanji_games/index.html 怪盗ねこぴー（ http://www.nekopy.com/index.html ）にて公開されている教材です。

このサイトでは、1年生から6年生の配分漢字について、部首や、読み、熟語について、ゲーム形式で学習をすすめることができます。

[| ねこぴーとは |](#)
[マイページ](#)
[| お問い合わせ |](#)
[ヘルプ](#)
[英語版](#)

ひょうし/漢字ゲーム/4年生



さんすう

さんすうの へんきょう

きょうの もんだい (算数)

さんすうパズル

100マスけいさん

たっち そろばん

こくご

かんじの かきとり

きょうの もんだい (かんじ)

かんじゲーム

ひらがな と えいご

りか

りかの へんきょう

しゃかい

れきし の はなし

けいじばん

うた

アニメ

漢字ゲーム 4年生で 習う漢字

問題は10問ずつです
(タテ・ヨコ文字は5問です)

ばらばら漢字を
なおそう

口 → 虫

一 止 山

四角に入る
漢字は
なあに?

一 右 雨

漢字の順番を
きおくしよう

上 中 山

じゅんぱんを おもいだして、ならびかえます

中 山 上 → 上 中 山

タテとヨコで 文字をつくろう

先 年 一 生 → 一 年 生

漢字の
読みがなを
さがそう

う え

上 天 手 → 上

漢字を選んで
言葉を
つくろう

上 石 雨 下 → 上 下

字画の数を
こたえよう

下 → 3

じかく とは せんてん
かんじをつくる線や点のことです

読みがなが合ってるのは
どっちかな?

せんせい

先生 千生



copyright(C) 2002 Jun Egusa & Claire Hallinan

また、怪盗ねこぴー（<http://www.nekopy.com/index.html>）では、漢字ゲームだけではなく、漢字の書き取りプリントや、算数の教材、理科・社会の教材も公開されています。

画像はサイトのスクリーンショットより

読み書き(漢字)

生活シミュレーションで育てる「聞く・話す・読む・書く」	
対象	漢字（1～6年生担当）が苦手な子ども
形式	インターネット上で使用
サイト	http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/n/ 特別支援教育デザイン研究会ポータルサイト (http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/1/)にて公開されている教材です。

この教材では、漢字の「読み」の習得を促し、それに基づいて「書き」の習得を促す仕組みになっています。内容は、生活単語と教科書漢字の2種類が用意されています。生活単語では、小学校教科書漢字別語彙表より動詞を除く漢字単語（名詞、形容詞、形容動詞）について、高学年単語（300語）と中学年単語（316語）と低学年単語（122語）が選ばれています。また教科書漢字は、1年生から6年生の担当漢字が対象となっています。

このプログラムを使う事で、形の習得、絵で学習（生活単語および1年生から4年生担当の漢字）、読みの学習、書きの学習という様に段階を経て学習することができます。



漢字の読み書きには、読み方や、文字の形だけではなく、意味も大事な役割を果たします。この教材の、生活単語および1年生から4年生担当の漢字では、「漢字」や「読み」に対応させて「漢字に関連した絵」も学習していきます。読み書きの苦手な子どもにとって、「漢字→読み」や「読み→漢字」の習得の過程において、「読み→絵」や「漢字→絵」を関連付けることで、負担を少なくした状態で学習を進めることができるでしょう。



画像はサイトのスクリーンショットより

読み書き(社会科の教科書に出てくる漢字・文章)

デジタル読み書き支援～社会科単語を学ぼう～	
対象	漢字・文章の読み書きが苦手な子ども
形式	インターネット上で使用 ＊学習履歴を残すために、登録が必要です。
サイト	http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/r/index.html# 特別支援教育デザイン研究会ポータルサイト (http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/1/) にて公開されている教材です。

この教材では小学校 3 年生から 6 年生までの社会科教科書の文と単語を学習できるようになっています。2 つのコースとプリント教材から構成されています。

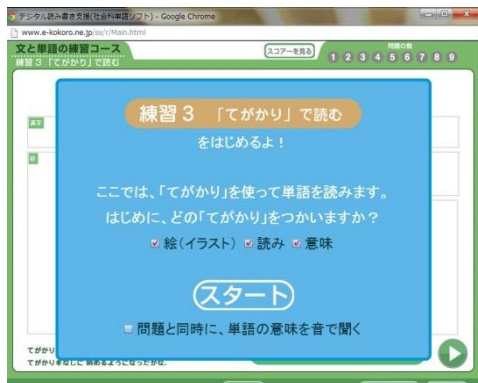
「文と単語の練習コース」では、文を読んで読めなかった漢字単語を練習します（練習方法は、単語の練習コースと同様です）。単語の練習後、再度、文を読み、練習した漢字が読めるようになったかどうかを確認することができます。さらに応用文を読むことで、学習の効果を確かめることができます。

「単語の練習コース」では、学習したい単語を選択し、意味や絵（イメージ）、音声をはてがかりに単語が安定して読めるように練習することができます。

「プリント教材」では、単語カード、文プリント、単語マスターカード、短い文の指導プリントなどを印刷することができます。



この教材では、それぞれの子どもの得意な力を探り、必要な支援の手がかりを見つけることができます。最初は、手がかりを使いながら単語を読み、少しずつ手がかりを少なくしていき、最後には、手がかりなしで読めることを目標としています。



画像はサイトのスクリーンショットより

読み書き(ひらがな・漢字)

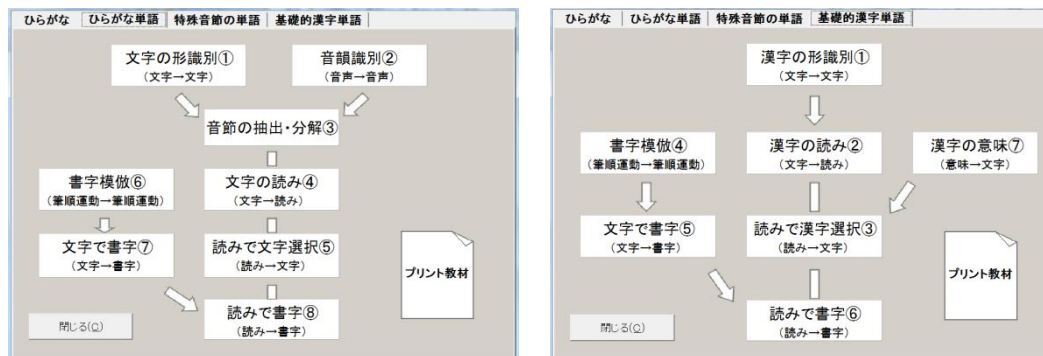
LD 児のためのひらがな・漢字支援—個別支援に生かす書字教材

対象	ひらがな・漢字（1～2年生配当）が苦手な子ども
形式	CD-ROM から再生 もしくは パソコンにインストール
本の情報	「LD 児のためのひらがな・漢字支援—個別支援に生かす書字教材」 小池 敏英, 窪島 務, 雲井 未歆(著), あいり出版 ￥3,360 (税込)

ひらがなの文字、ひらがなの単語、ひらがなの特殊音節の単語と基礎的漢字（1～2年生配当）を学習することができる「書字支援ソフト」の CD-ROM 付きです。

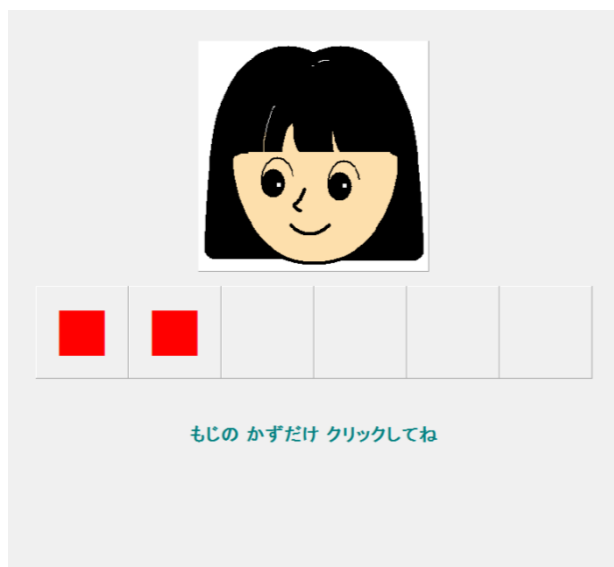
この「書字支援ソフト」を使う事で、文字の形識別、音韻識別、音節の抽出・分解、文字の読み、読みで文字選択、書字模倣、書いてある文字を見て書字、音声聞いて書字という様にスモールステップで学習することができます。

またこのソフトを使うことで、書き順を示せる書字プリントを作成することができます。



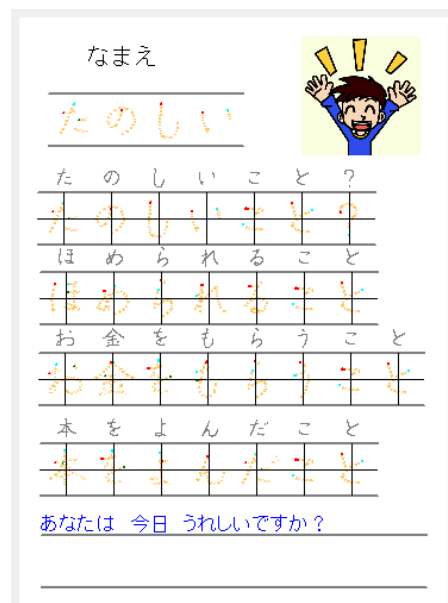
また本の中では、学習障害（LD）の児童がどういった困難さを抱えているか、どういった支援をしたら良いのか、といったことも解説されています。

【書字支援ソフト[ひらがな単語]音節の分解】



画像は教材のスクリーンショットより

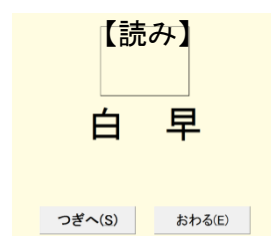
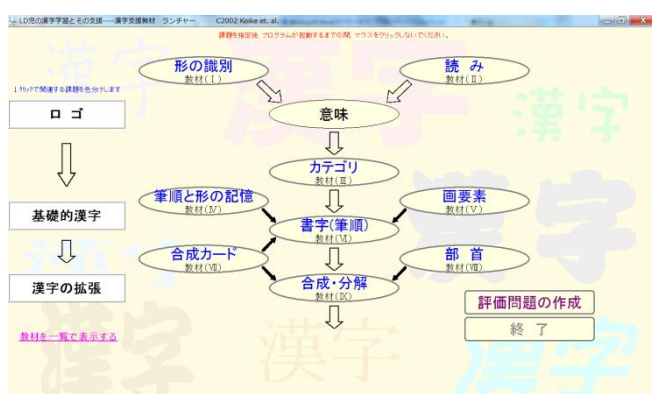
【プリント教材】



読み書き(漢字)

LD 児の漢字学習とその支援 一人ひとりの力をのばす書字教材	
対象	漢字（1～6年生担当）が苦手な子ども
形式	CD-ROM から再生
本の情報	「LD 児の漢字学習とその支援 一人ひとりの力をのばす書字教材」 小池 敏英, 渡辺 健治, 雲井 未歆, 上野 一彦(著), 北大路書房 ￥4,200(税込)

漢字を学習することができる漢字支援ソフト「漢字の支援」の CD-ROM 付きです。形の識別、読み、カテゴリ、筆順と形の記憶、画要素、書字(筆順)、合成カード、部首、合成・分解に分かれています。

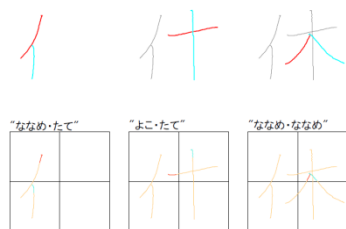


形の識別、読み（1～3年生担当の漢字のみ）は、パソコン上で使用する教材です。

形の識別では、神経衰弱ゲームと同じ形式行うため、ゲーム感覚で漢字の形になじむことができます。また、読みでは、音声を聞いて正しい文字を選択する形式なので、読むことが苦手な児童にも負担が少ないと考えられます。

カテゴリ、筆順と形の記憶、画要素、書字(筆順)、合成カード、部首、合成・分解は、印刷して使用する教材です。子どもの実態に合わせて、内容を変更でき、スモールステップで学習することができます。

【書字(筆順)】



【合成・分解(分解)】

漢字を 分解(ぶんかい)してみよう！



また本の中では、学習障害（LD）の児童がどういった困難さを抱えているか、どういった支援をしたら良いのか、といったことも解説されています。

画像は教材のスクリーンショットより

幼児の学習素材館 迷路・点描写など	
対象	運筆・視知覚に苦手さがある子ども
形式	印刷して使用
サイト	幼児の学習素材館 http://happyilac.net/kisetsu-sozai.html 迷路 http://happyilac.net/meiro-h.html 点描写 http://happyilac.net/tenbyousya.html

「幼児の学習素材館」は、「子育て・ことば育て (<http://happyilac.net>)」のグループサイトの一つです。「子育て・ことば育て」は、読み書きを中心とした、子供の学習素材や実践例を紹介しているサイトです。**ひらがな・カタカナの練習プリントの他、迷路、点つなぎ、点描写、間違い探し、かるた等、特別支援教育で有効活用できるプリントや教材が多数公開されています。**このサイトで公開されている学習素材は、教育施設などでも無料で使用することができます。

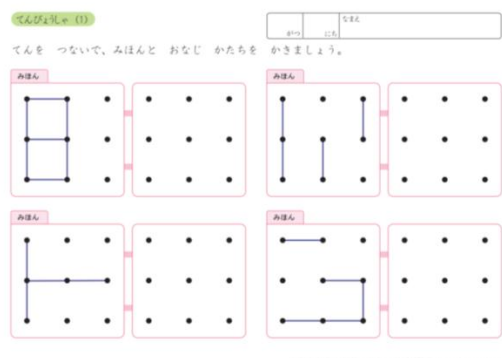
特に視知覚（単純な形態や模様を分析する力）の練習ができるプリントで、無料で公開されているものはあまりないので、有効に活用できると思います。

迷路

迷路の場合では、速くゴールすることを目標とせずに、壁にぶつからないようにすることを目標とすることで、細かい鉛筆の動きを調節する練習ができます。はじめは幅の太い迷路から初めて、少しずつ幅が狭く難易度の高いものに移行していくなどの工夫も有効かと思われます。このような遊びを通して、筆圧のバランスをうまく身につけていくことで、書字の負担を減らしていけるのではないかと思います。

視知覚

以下のような点描写のプリントで、点と線の関係性を正しく理解できるようになると、文字を書く際にも、文字の画と画の関係などを把握し、バランス良く書けるようになるのではないかと考えられます。



プリントは、幼児の素材館 (<http://happyilac.net/kisetsu-sozai.html>) にある「図形・点描写・積み木問題」のうちの、「点描写（点図形）ミニ-1」より転載。

算数

子ども学習カルテ算数	
対象	基礎的な算数に苦手さがある子ども
形式	主に印刷して使用 (一部、インターネット上でできる教材もあり)
サイト	http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/sk/statessetup.html 特別支援教育デザイン研究会ポータルサイト (http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/1/) にて公開されている教材です。

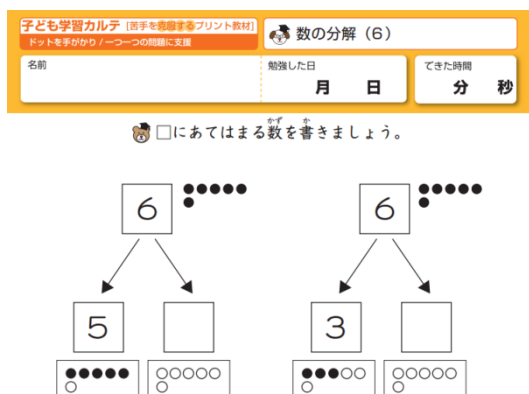
この教材では、算数の基礎スキルとして、「数字の読み」、「計算の知識」、「筆算の手続き」を取り上げ、子どもの状態を評価し、それを基にスモールステップ学習をすすめることができるように、構成されています。

子どもにとって、効果的な学習の手がかりは異なることがあります。本教材では、効果的な手がかりとして、視覚的情報を中心とした手がかりと、言葉を中心とした手がかりの2種類が用意されています。またそれぞれの種類の学習の手がかりに、手がかりが豊富に与えられるプリントと、手がかりが少ないプリントの2種があります。したがって、各学習課題に4種類の手がかりプリントが用意されています。

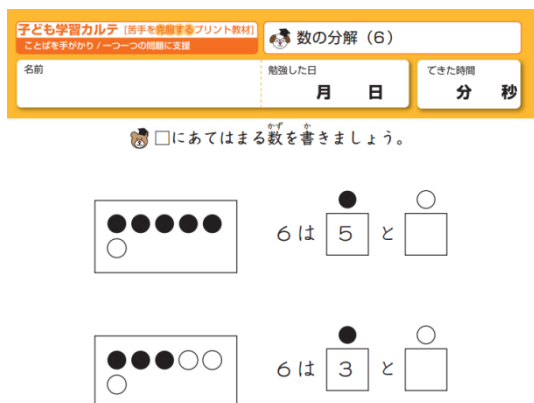


例) 数の分解について、

【視覚的情報を手がかりとしたプリント】



【言葉を手がかりとしたプリント】



画像はサイトのスクリーンショットより

算数

生活シミュレーションで育てる数のちから

対象	基礎的な算数に苦手さがある子ども
形式	インターネット上で使用　もしくは　ダウンロードして使用 (それぞれの教材により、使用方法が異なります)
サイト	http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/m/ 特別支援教育デザイン研究会ポータルサイト (http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/1/) にて公開されている教材です。

この教材は、生活に必要とされる計算（例：お金のやりとり、料理の計算など）をゲーム形式で学習できる教材です。

3つの場面（家庭、学校、社会）が設定されており、またそれぞれの内容で、導入、練習問題、応用問題等、段階に応じた学習を進めることができます。

例)

場面：社会、電車ででかけよう
〔時間〕



場面：学校、水族館スタンプラリー
〔10以上の足し算・引き算〕



ダウンロードした教材



画像はサイトのスクリーンショットより

さんすうプリモン

対象	小学校 1～6 年生で習う算数の科目を学習したい子ども
形式	印刷して使用
サイト	http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/archive/primon/index.html * 公開は、2013 年 8 月までです。

この教材は、神奈川県の大和市教育委員会教育研究所が、算数の授業で活用できる補助用のプリント問題集を作成するというプロジェクトを通して作成され、公開されているものです。1～6 年生までの問題が公開されています。営利目的でなければ、教育現場等で活用することができます。* 公開は、2013 年 8 月までです。

一枚のプリントの文字が比較的大きく、また量も少ないので、発達障害の子どもにも活用しやすいと思います。

さんすうプリモン 1 年生

のこりはいくつ ちがいはいくつ⑨



1. りんごが 7こ ありました。
2こ たべたら のこりは なんこでしょう。



しき ことえ

2. いぬが 6びき ねこが 3びき います。
かずの ちがいは なんびきでしょう。

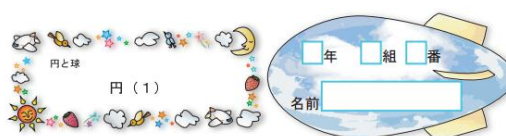


しき ことえ

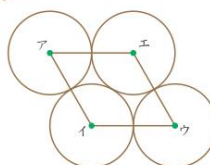


さんすうプリモン 4 年生

円と球 円 (1)



- ① 半径5cmの円を使って、もようをかきました。



ア、イ、ウ、エは
円の中心だよ。



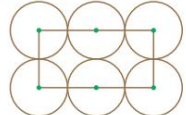
- ① アからイまでの長さは、何cmでしょうか。

 cm

- ② アイウエの4つの点を結んでできた四角形のまわりの長さは、何cmになるでしょうか。

 cm

- チャレンジ！ 半径4cmの円を使ったもようです。



この四角形のまわりの
長さは、何cmかな？



プリントは、さんすうプリモンより転載。

NHK for School 理科・社会の番組

対象	小学校 3～6 年生、中学生で習う理科・社会の科目を学習したい子ども
形式	インターネット上で使用
サイト	http://www.nhk.or.jp/school/

NHK for School というサイトで、NHK がこれまで放送した番組の動画を観ることができます。特に、理科や社会の番組は、教科書の内容に関わってくるので、読み書きの苦手な児童のフォローアップ教材としても、有効だと考えられます。

毎回の番組は 10 分から 15 分です。また、このサイトでは、過去の番組の動画を見ることができるだけでなく、番組内容に関連するクリップ（短い動画）を見ることができる他、その内容をもっと調べるためのリンクや、インターネット上でできるゲームや問題がある場合もあります。

例) 理科 ふしぎがいっぱい (5 年) 第 2 回 植物が育つには

The screenshot shows the NHK for School website interface. At the top, there's a navigation bar with 'NHK for School' and 'ふしぎがいっぱい' (Wonderful World) logos. Below this, the main title '第2回 植物が育つには' (Episode 2: How Plants Grow) is displayed. The page is divided into several sections: 'ばんぐみ' (Program) showing a video thumbnail, 'クリップ' (Clips) with a list of video thumbnails, 'きょうざい' (Lesson) with a list of lesson topics, and '先生' (Teacher) with a list of teachers. A large red arrow labeled 'ゲーム' (Game) points from the 'クリップ' section to a detailed game interface. The game interface shows a plant growing in a pot, with a '放送時間' (Broadcast Time) of 3:00 PM. Below the game, there's a '問題' (Questions) section with a question about plant growth: '種が発芽するために水が必要なのは、どれくらい必要ですか？' (How much water is needed for seeds to germinate?). The game and question sections are part of the '植物を元気にしてあげよう！' (Let's make the plant healthy!) program.

画像はサイトのスクリーンショットより

NHK for School スマイル！	
対象	主な対象は小学校低学年の子ども達ですが、高学年の子ども達にとっても分かりやすく良いでしょう。
形式	インターネット上で使用
サイト	http://www.nhk.or.jp/tokushi/smile/ NHK for School(http://www.nhk.or.jp/school/)内のサイトです。

「スマイル！」は NHK が放送している「特別支援教育・学級活動のための番組」です。NHK for School というサイトで、これまで放送した番組を観ることができます。学習の基礎的なところでつまずきがあったり、人間関係のトラブルを抱えやすい子どもたちを主な対象としています。毎回のテーマは、子どもが学校や社会生活の中で、つまずきやすい事柄（例：順番を待つことが苦手、聞き間違いが多い、等など）です。

毎回の番組は 10 分で、メインとなるミニドラマ（ソーシャルスキルやコミュニケーションスキルなどを主に扱う）、「スマイル！ハルトくん」（学校や日常生活の中でつまずく場面に関するソーシャルスキルを主に扱う）、目や耳のトレーニングとなるクイズコーナーから成り立っています。

2012 年度 放送回

- | | | | |
|--------|------------|--------|-------------|
| 第 1 回 | あいさつの魔法 | 第 11 回 | 予定とつきあう魔法 |
| 第 2 回 | わかる伝え方の魔法 | 第 12 回 | 話をつづける魔法 |
| 第 3 回 | しせいの魔法 | 第 13 回 | 気持ちを伝える魔法 |
| 第 4 回 | 話をよく聞く魔法 | 第 14 回 | 聞いて覚える魔法 |
| 第 5 回 | まわりを見る魔法 | 第 15 回 | 集中する魔法 |
| 第 6 回 | なくさない魔法 | 第 16 回 | 自分を知る魔法 |
| 第 7 回 | 声の使い方の魔法 | 第 17 回 | おちつく魔法 |
| 第 8 回 | 仲間になる魔法 | 第 18 回 | 共通点の魔法 |
| 第 9 回 | ノートの使い方の魔法 | 第 19 回 | 話し合いの魔法 |
| 第 10 回 | うれしい言葉の魔法 | 第 20 回 | こだわりとつきあう魔法 |



画像はサイトのスクリーンショットより

NHK for School コミ☆トレ

対象	主な対象は小学校高学年から中学生の子ども達です。 先に紹介したスマイル！より高度な社会的なスキルや対人関係のスキルの勉強をしたい子ども達を対象としています。
形式	インターネット上で使用
サイト	http://www.nhk.or.jp/tokushi/comtr/ *2013 年度からは、NHK for School(http://www.nhk.or.jp/school/)内のサイトからは見られなくなりましたが、「コミ☆トレ」のサイトはまだあるようです。

「コミ☆トレ」はコミュニケーションや社会参加の技術、また学習に困難を抱えた子どもたちを支援する特別支援教育向け番組です。「コミ☆トレ」では小学校高学年から中学生の子どもを対象に、幅広く、社会的なスキルや対人関係のスキルを取り上げています。

毎回の番組は 15 分で、メインとなるミニドラマの他に、「どうする？ しおん君」（ドラマパートで取り上げた内容を中心に、その回の内容を短く確認できるクイズ形式のコーナー）、「財団からの挑戦状」（図形や文字の認識など、視覚や聴覚などのトレーニングになるゲームコーナー）から成り立っています。

2012 年度 放送回

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 第 1 回 はじめて、ぼく忍者です～新しいなかまを作ろう～ | 第 11 回 決定！イメージキャラクター～話し合いのルールを学ぶ～ |
| 第 2 回 まぼろしの遊園地～友だちとうまくつきあう～ | 第 12 回 アスレチックで大勝負～体のちがいを知る～ |
| 第 3 回 はじめてのおつかい～人に助けを求める～ | 第 13 回 バンドやろうよ～図や表の使い方～ |
| 第 4 回 おいしい修行に気をつけろ～心を落ち着ける～ | 第 14 回 つつしんでお断りします～上手に断る方法～ |
| 第 5 回 しめきりせまる～生活のリズムを作る～ | 第 15 回 きっちり買いましょ～お金の使い方～ |
| 第 6 回 しのび喫茶へようこそ～学習のつまずきを知る～ | 第 16 回 どうするしおんくん～仲間との会話を続ける～ |
| 第 7 回 奈良の都が呼んでいる～約束を守る～ | 第 17 回 忍者、最後の試練～なかまを思いやる～ |
| 第 8 回 これって愛？！～異性と上手にかかわる～ | 第 18 回 それぞれの選択～自分で決める～ |
| 第 9 回 忍者流おそうじ大作戦～最後までやりとげる～ | 第 19 回 のこされたものは～自分の個性を知る～ |
| 第 10 回 秋だ！びわ湖だ！遠足だ！～変化に対応する～ | 第 20 回 すべてはこれからはじまる～将来に希望を持つ～ |



画像はサイトのスクリーンショットより

どうするゆうきくん	
対象	主な対象は小学校低学年の子ども達ですが、高学年の子ども達にとっても分かりやすく良いでしょう。
形式	DVD を再生して利用
本の情報	「どうする?ゆうきくん—NHK 学校放送みてハッスル・きいてハッスルーLD・ADHD児童「特別支援教育」のために—」 DVD 付き大型本, NHK 出版 ¥3,675 (税込)

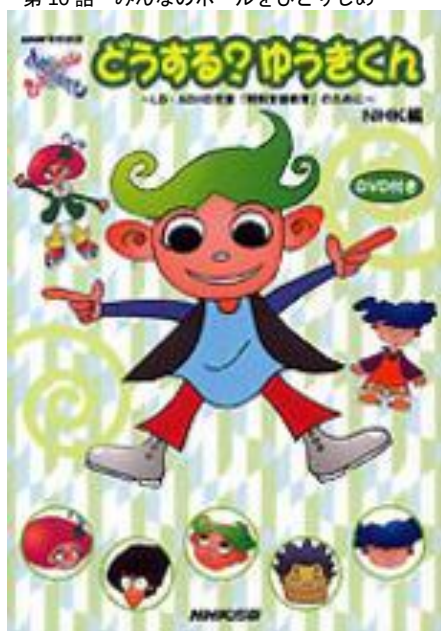
この本は、NHK 学校放送「みてハッスル☆きいてハッスル」のコーナー「どうする?ゆうきくん」を 20 話分の DVD を付けて単行本化したものです。先に紹介した、NHK for School スマイル! や、NHK for School コミ☆トレに同じようなコーナーがあるので、インターネットに繋がられる場合には、そちらを活用しても良いでしょう。

本の内容は、DVD の内容説明と、教材として使うときのヒントが書いてあります。

DVD の内容は「ゲームで負けているからといって、途中でいきなりやめたら相手に失礼」等のさまざまな事例 (全 20 話) を、ゆうきくんの失敗と改善例を見て学ぶというものです。それぞれの話は、約 2 分程度の短編アニメになっています。

- 第 1 話 まいごになった!
- 第 2 話 友だちのマンガをやぶった
- 第 3 話 親切にされても知らんぷり
- 第 4 話 勝手に人の家の冷蔵庫をあけた
- 第 5 話 電話で「お母さんいますか?」
- 第 6 話 おふろを見てきて
- 第 7 話 負けそうだからやめる!
- 第 8 話 きみはいくつ?
- 第 9 話 だまって消しゴムを借りた
- 第 10 話 みんなのボールをひとりじめ

- 第 11 話 授業が始まるのに準備がまだ!
- 第 12 話 約束の時間におくれた!
- 第 13 話 カットとなってテストをやぶった
- 第 14 話 大切なおもちゃにさわるな!
- 第 15 話 強引に遊びにさそった
- 第 16 話 友だちのテストの点数を大声で言った
- 第 17 話 おそくまでマンガを読んでねぼうした
- 第 18 話 知らない人に声をかけられた
- 第 19 話 ハンカチをとられた!
- 第 20 話 体操服を入れるふくろがない!



****Memo****

●本アイデア集に掲載しているイラストは以下のものを利用しました。

・「無料イラスト【イラストわんパグ】POP でかわいいイラスト集」の無料イラスト
(<http://www.wanpug.com/>)

発行年月

2013 年 4 月

作成

特定非営利活動法人 発達障害療育センター

研究協力

広島市教育委員会

監修

正高 信男（特定非営利活動法人 発達障害療育センター 理事長）

村田(福島)美和（特定非営利活動法人 発達障害療育センター 副理事長）

伊藤 祐康（特定非営利活動法人 発達障害療育センター 理事）

田村 綾菜（特定非営利活動法人 発達障害療育センター 理事）

執筆

小川 詩乃